Panasonic®

工事店様用

エントランスポール エックス(ECSS)

施 工 説 明 書

この度は エントランスポールエックス(ECSS)をご採用いただきまして、ありがとうございます。

施工店様へ

■施工は、必ずこの説明書に従って正しく施工してください。 ■電気配線工事は、必ず電気工事店様にご依頼ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

❗ 商品の施工は、施工説明書に従い確実に行ってください。
- ●火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。

仕様変更・改造は絶対にしないでください。
分解禁止
- ●ケガの発生や事故のおそれがあります。（変更、改造、分解された場合は商品の保証を致しかねます。）

現場取付部品について

照明器具…… ❗ 同梱されている説明書に従って正しく施工してください。

⏚ 接地工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。
アース線接続
接地が不完全な場合、感電の原因となります。

⚠ 注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

❗ ポール下部内側の水抜き穴は埋めないでください。
- ●ポール内部に雨水・結露水がたまり、漏電、感電、腐食等の原因となります。

❗ 施工後、ねじ類の締まり具合をもう一度点検してください。
- ●ねじ締め不足により、思わぬ事故が起きたり、故障の原因となります。

❗ 照明器具後付けの場合、100V電源は漏電ブレーカーを介して接続し、D種(第3種)接地工事を必ず実施してください。
- ●感電事故のおそれがあります。

❗ 照明器具の電球の取付けは主電源を切って行ってください。
- ●感電のおそれがあります。

❗ 照明器具のグローブは、しっかり取付けてください。
- ●雨水の侵入により漏電、感電、故障等の原因となります。

❗ 部材が重量物の場合、運搬・取付作業は2人以上で行ってください。
- ●ケガのおそれがあります。

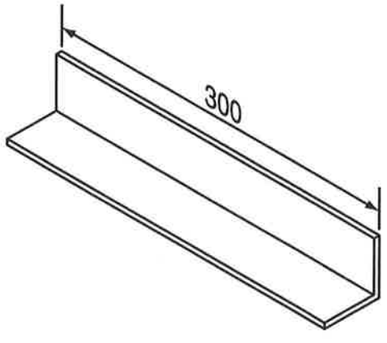
施工上のご注意

- **通行の妨げとなる場所への設置は禁止**
  - ●ケガの原因となります。
- **商品へのぶら下がり禁止**
  - ●ケガ、故障等の原因となります。
- **固いものを当てたり、強い衝撃を与えないでください**
  - ●表面にキズをつけますと、腐食の原因となります。
- **モルタル急結剤、海砂等の使用は禁止**
  - ●アルミの腐食促進作用があります。
- **基礎穴及び埋め込み深さは基準通りに設けてください**
  - ●強度不足によりケガのおそれがあります。
- **商品に付着したリシンやモルタル・コンクリート等は速やかに清掃してください**
  - ●塗装がはげたり、腐食の原因となります。
- **ホースによる直接の水洗いは禁止です。**
  - ●故障や水もれ、水溜りの原因となります。
- **施工時の汚れ落としにシンナー、塩酸などは使用禁止です。**
  - ●腐食の原因となりますので中性洗剤を使用してください。
- **アルミ製品に銅板やラス等の異種金属が接触しないように絶縁処理してください**
  - ●アルミの腐食促進作用があります。

目次

安全上のご注意……表紙
同梱部品……2
製品納まり図……3
施工を始める前に……4
施工手順……5
エントランスポール本体の施工……5
オプション部品の取付け……6
• ポストの取付け……6
• 表札の取付け……7
• ドアホン子器(露出型)の取付け……8
• 照明の取付け……9
• 天キャップの取付け……10
• ハンギングネットの取付け……10
門扉を吊る場合……11
• 柱側ヒジツボの取付け……11
アフターサービスについて……12

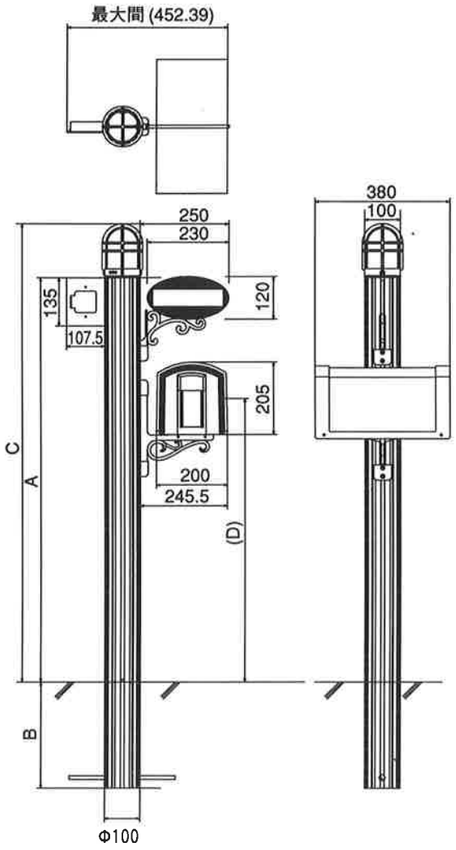
同梱部品

廻り止め棒	説明書
	• 施工説明書 1部 • 取扱説明書 1部 • グリーンカード 1部

注）照明器具を取り付けない場合は必ず天キャップ(別売)を取り付けてください。

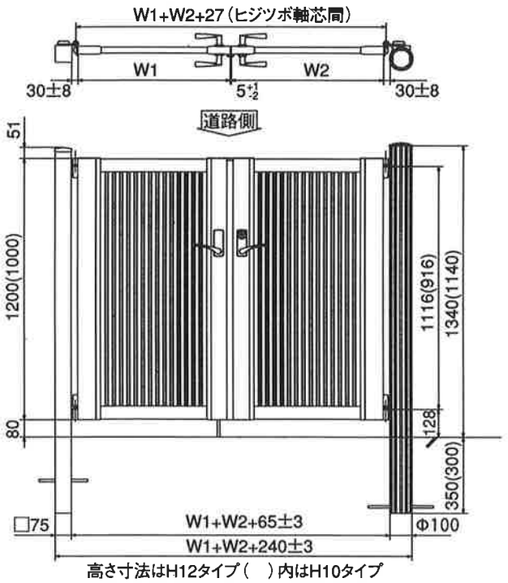
製品納まり図

施工例1 エントランスポール施工



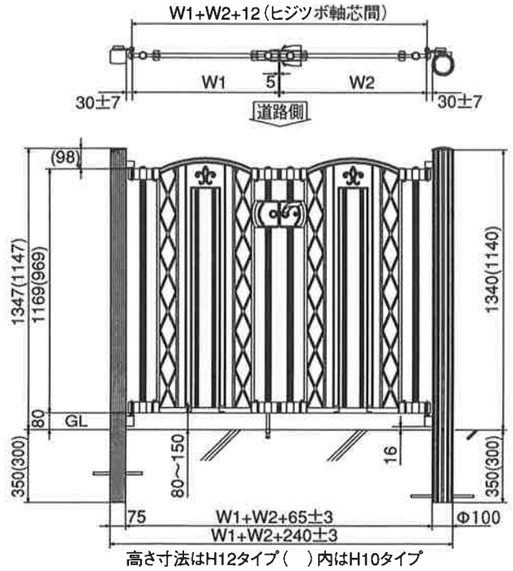
A	B	C	D
940	300	1292	800～
1140	300	1492	800～
1340	350	1692	800～

施工例2 門柱施工－1 (エクステリア門扉 / エクス門扉を吊る場合)



高さ寸法はH12タイプ( )内はH10タイプ

施工例3 門柱施工－2 (ガーニッシュ門扉を吊る場合)



高さ寸法はH12タイプ( )内はH10タイプ

施工を始める前に（オプション部品の「照明」「ドアホン」をつける場合）

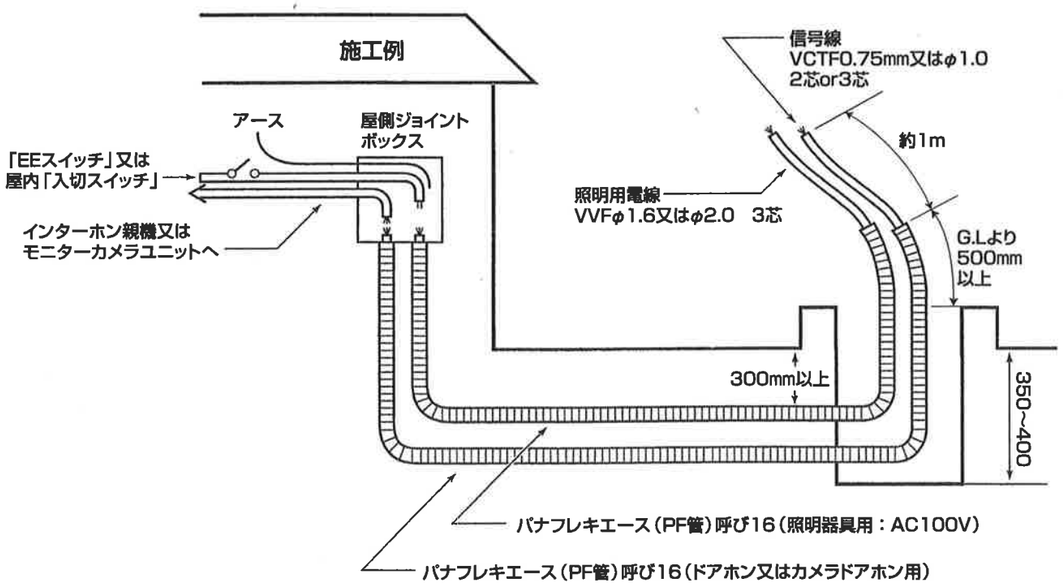
電気配線工事

はじめに

●電気配線工事は専門の電気工事店にご依頼ください。
●照明用電線と信号線は電線管による隔離が必要です。
●照明用電線は、VVFφ1.6又はφ2.0の3芯単線（アース線含む）
信号線（ドアホン、カメラドアホン用）は、VCTF0.75mm²より線又はφ1.0単線3芯（カメラドアホン子器の場合4芯）を準備してください。
●接地工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。（照明器具後付けの場合）
●照明器具の回路には、「EEスイッチ」または「入切スイッチ」を別途に設けてください。

配管工事

●ポール建て位置へあらかじめPF管を埋設してください。



注意
●パナフレキエース（PF管）埋設工事については、内線規定450節に従ってください。

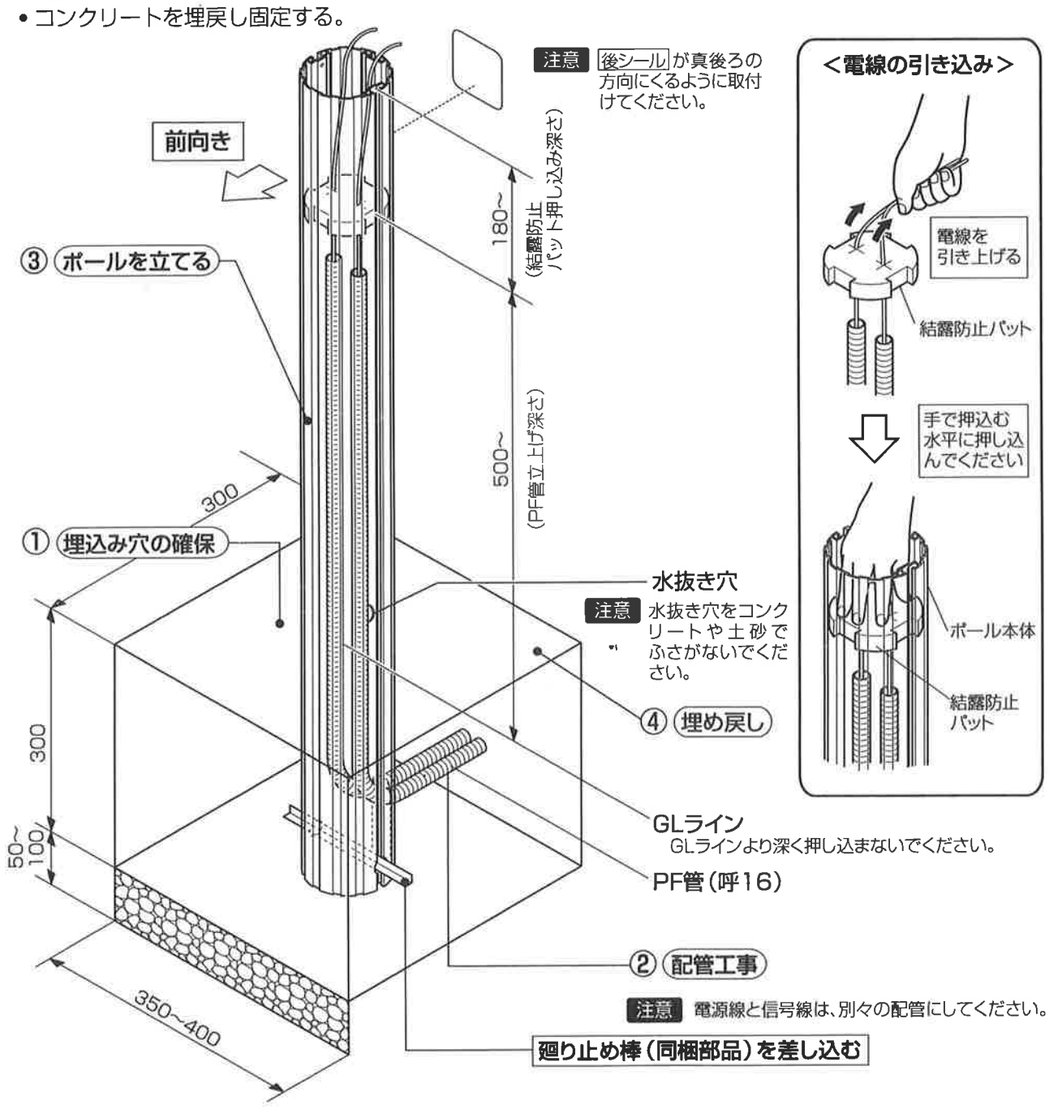
施工手順（エントランスポール本体の施工）

①穴の確保
• 決められた寸法の基礎穴を掘り50～100mmの栗石を敷く。

②配管工事（❗電気工事店様にご依頼ください）
• ポール内部の決められた高さまで電源線（照明用等）及び信号線（ドアホン子器用等）用PF管をあらかじめ立ち上げておく。

③エントランスポール本体を立てる。注意 GLラインより深く埋め込まないでください。
• ポール内部の結露防止パットを取出しておく。後から使用します。大切に保管してください。
• ポール内部にPF管を通す。
• ポール本体に同梱の廻り止め棒を差し込む。
• PF管内の電線を引き上げて、結露防止パットの2つの穴にそれぞれ通す。
（電線はポール天面以上に引き上げてください。）
• 電線を通した結露防止パットを決められた深さまで水平に押し込む。
• ポールを立て、前後を確認。埋込位置、高さ、垂直度、水平度を調整し、添え木などで固定する。

④埋戻し
• コンクリートを埋戻し固定する。

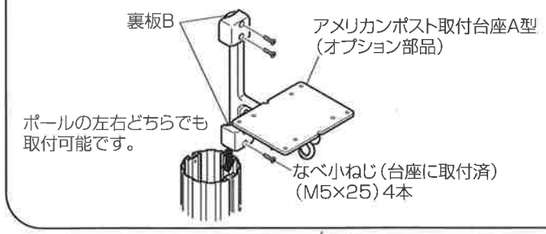


施工手順（オプション部品の取付け）

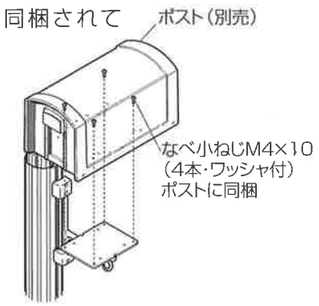
ポストの取付け

アメリカンタイプを取付ける場合

①アメリカンポスト取付台座Ａ型の裏板部分をポールの溝部分（凹部）にスライドさせて任意の高さに固定する。
※取付台座本体、ねじ、裏板をばらさずにそのままスライドさせてください。



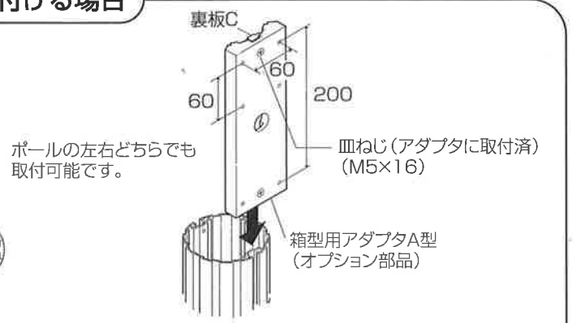
②ポストを取付ける。
- 使用するねじ・ワッシャはポスト本体に同梱されています。



VH型、BI型、BR型、ユーロバッグを取付ける場合

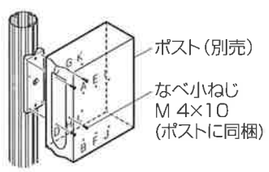
共通

●箱型用アダプタA型の裏板部分をポールの溝部分（凹部）にスライドさせて任意の高さに固定する。
※アダプタ本体、ねじ、裏板をばらさずにそのままスライドさせてください。
※アダプタは前側には取付けることができません。（ユーロバッグを正面に向ける場合は、溝のある面を正面に向けてください。）



VH型

①VH型左右にあるノックアウト穴を開ける。
（片側どちらか4ヶ所づつ）

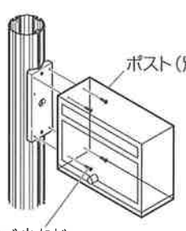


注意 片側に6ヶ所ノックアウト穴がありますがⒶⒷⒺⒻもしくはⒸⒹⒼⒽのどちらか片側を開けてください。（I,J,K,Lは開けない）

②ポスト同梱のM4×10小ねじでポスト内側よりポールに取付けてください。

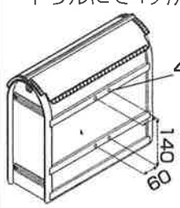
BI型、BR型

①取付ける側面のノックアウト穴を4コ抜く。
②ポスト内部よりポールに同梱のビスで取付ける。



ユーロバッグ

①下図の寸法の位置に後面から、φ5のドリルにて4ヶ所穴をあけてください。



注意 それ以外の穴をあけて取付けないでください。強度不足による落下のおそれがあります。

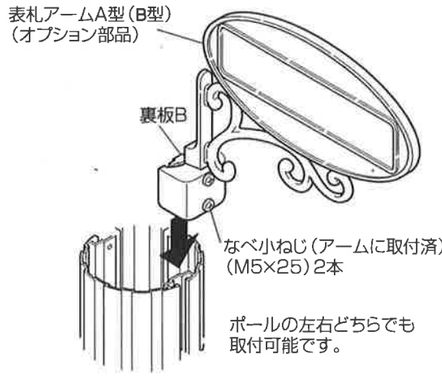
②アダプタに同梱しているねじを使って、取出口蓋をあけて、ポスト内側から、取付けてください。

注意
- ユーロバッグの側面には取付けることができません。
- 雨水防止のためねじにコーキングを塗布して取付けてください。

表札の取付け

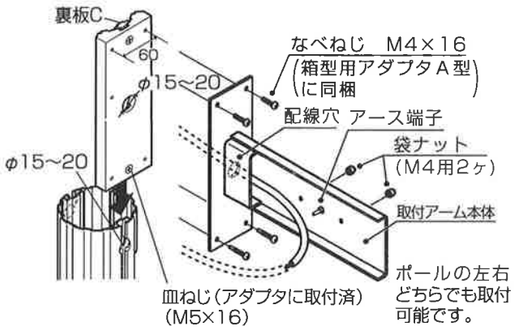
表札アームA型、B型を取付ける場合

①表札アームA型（B型）の裏板部分をポールの溝部分（凹部）にスライドさせて任意の高さに固定する。
※表札本体、ねじ、裏板をばらさずにそのままスライドさせてください。



光る表札ルミプレートを取付ける場合

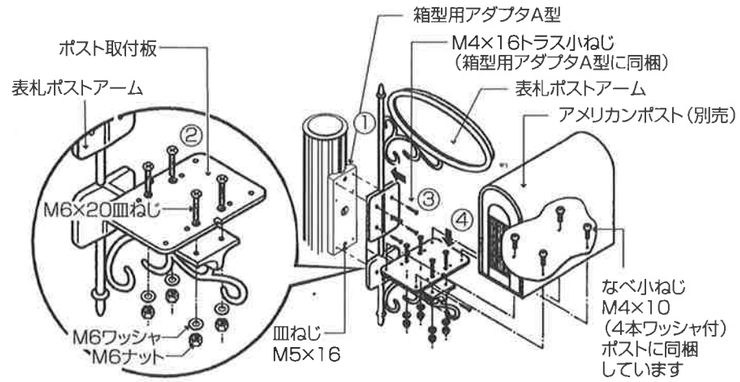
①柱本体に配線用穴加工をする。（φ15～20）
②箱型用アダプタＡ型の裏板をポールの溝部分（凹部）にスライドさせて任意の高さに固定する。



注意 光る表札用表札取付アーム、表札本体、化粧枠の取付方法は、各々に同梱されている施工説明書をよくお読みください。

表札ポストアームを取付ける場合

①箱型用アダプタA型の裏板部分をポールの溝部分（凹部）にスライドさせて任意の高さに固定する。
※アダプタ本体、ねじ、裏板をばらさずにそのままスライドさせてください。
②ポスト取付板を表札ポストアームに取付ける。
　M6×20皿ねじ、M6×ワッシャ・ナット各4ヶ（同梱）
③表札ポストアームをポール本体に固定する。
　M4×16トラス小ねじ6本（同梱）
④アメリカンポストを取付台に固定する。

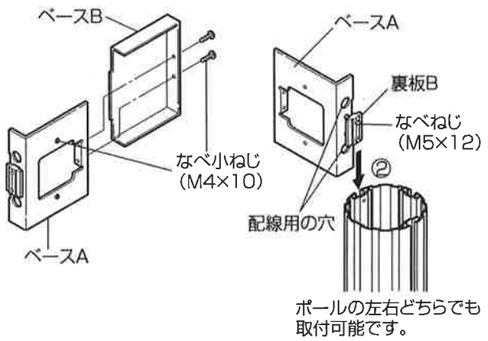


ポールの左右どちらでも取付可能です。

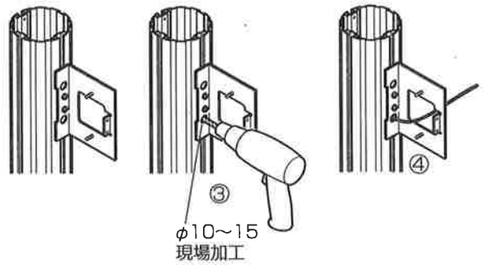
ドアホン子器(露出型)の取付け

注意 ●ねじ止めにインパクトドリルドライバーは使用しないでください。
(ねじがきかなくなるおそれがあります)
●カメラ付きドアホン子器(露出型スイッチボックス1ヶ用適合品)も取付可能です。
取付高さが低い場合は、カメラ角度調節台(別売)等が必要となることがあります。
詳しくは各メーカーの撮像範囲をお確かめの上、お取付けください。
●カメラ付きにする場合H900及びH1100タイプのポールでは取付け高さが低くなり、適正な撮像範囲が得られない場合があります。

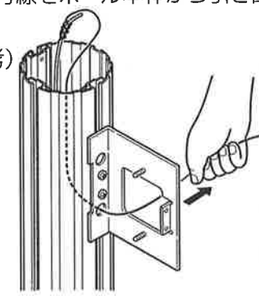
ドアホン取付台座C型を取付ける場合



①ベースAとベースBを取付けているなべ小ねじ(M4×10)を一旦外す。
注意 ねじは後で取付けます。大切に保管してください。
②裏板Bをポールの溝部分(凹部)にスライドさせて任意の高さに固定する。
※ベースA、ねじ、裏板をバラさずにそのままスライドさせてください。
③配線用穴からポールに向かってφ10～15の穴加工をする。
注意 配線用穴は必ず下側の穴を使用してください。ドアホン内への水の侵入を防ぎます。
④信号線をポール本体から引き出す。(20cmくらい)

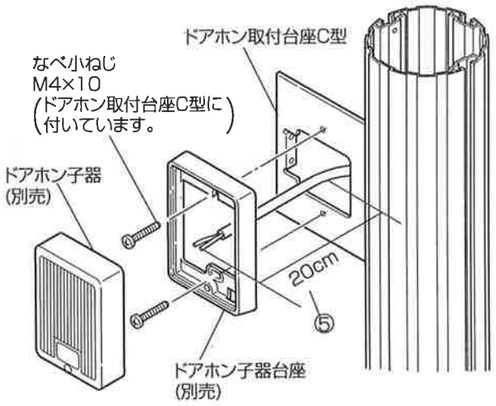


(参考)

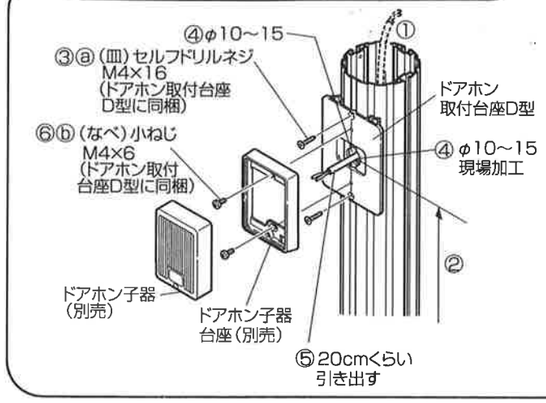


あらかじめ信号線をポール天面より上に引き出しておき、針金のようなもので配線穴から加工穴を通して巻き付けて針金を引っぱり出す。

⑤ベースAの配線穴を通し20cmくらい引き出してください。
⑥ベースAからなべ小ねじ(M4×10)を外して、ドアホン子器台座を取付台座C型に取付ける。
⑦ドアホン子器本体に結線し、子器の台座に取付ける。
⑧ベースBをベースAになべ小ねじ(M4×10)で取付ける。



ドアホン取付台座D型を取付ける場合



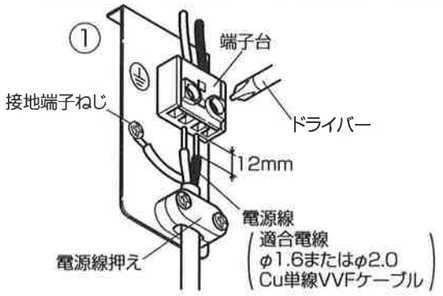
①配線の確保。(P4～P5参照)
②取付け高さの設定。(カメラ取付時には撮像範囲をを確認のうえ設定する)
③ドアホン取付台座D型をⓐねじでポールに固定する。
④ドアホン台座を取付位置にあてて配線用のφ10～15の穴加工をする。
⑤信号線をポール本体から引き出す。(20cmくらい)
⑥ドアホン子器台座をねじⓑにて取付台座D型をかいし、ポールに固定する。
⑦ドアホン子器本体を結線し、台座部に取付ける。
(結線方法及び取付け方法は、ドアホン子器に同梱されている説明書に従って施工してください。)

照明の取付け

⚠ 注意 取付けの際は、安全のため電源を切ってください。
通電状態で行うと感電の原因となります。

※照明器具にも施工説明書を同梱してあります。必ずご参照ください。

※結露防止パットが取付けられていることを確認してください。
①端子台に電源線を接続する。
- 電線は奥まで差し込み、端子ねじを確実に締め付けてください。接触不良により発熱し、火災の原因となります。
- 接地端子ねじからD種(第三種)接地工事を行ってください。
- 電源線押えで電源線をしっかり押えてください。



②照明器具本体をエントランスポールに取付ける。
- 照明器具本体に取付けられた本体取付ねじを一旦はずして、ポールに取付けてください。

③グローブ、枠をはずす。
- (照明器具Bタイプ、BFタイプの場合)
枠取付ねじをゆるめて、枠をはずす。
- グローブを手で回して、はずす。

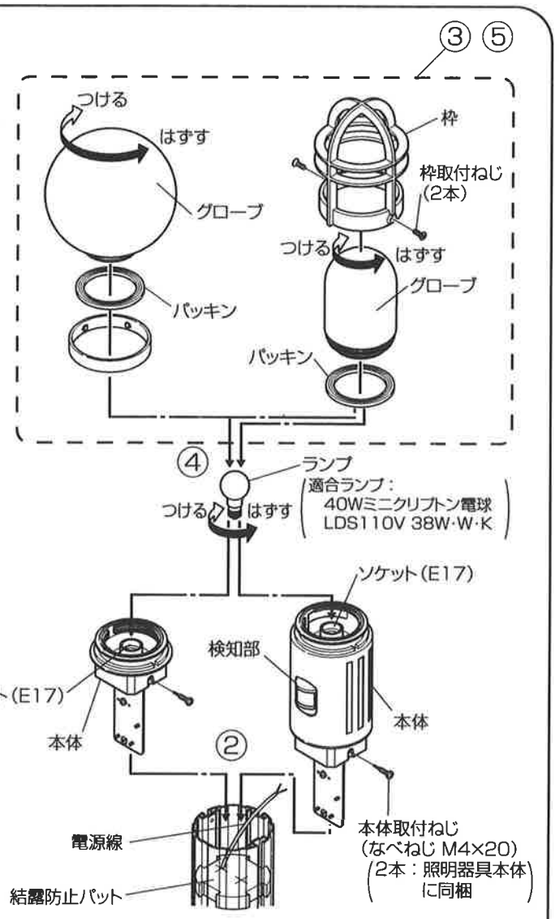
④ランプを取付ける。
- 手で回し、確実に取付けてください。

※ランプは一般市販品です。壊れた場合は、お近くのホームセンター、電器店でお買い求めください。

⑤照明器具本体にグローブ、枠を取付ける。
- グローブパッキンが取付いていることを確認してください。

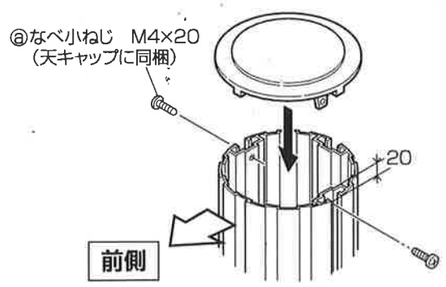
ひとセンサーFreePa付照明器具の場合

⑥検知部の調整と調整ツマミを設定する。
- 照明器具本体に同梱された、施工説明書を参照して設定してください。

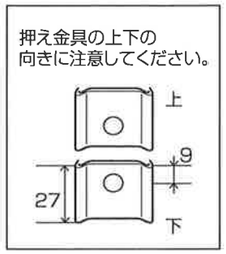


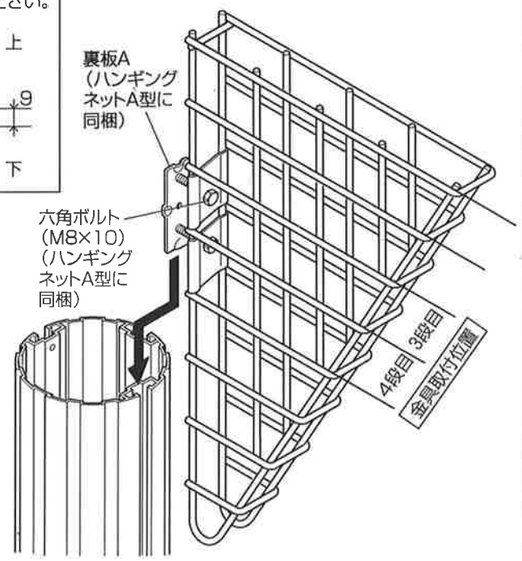
天キャップの取付け

①ねじⓐでポールの外側から取付ける。



ハンギングネットA型の取付け



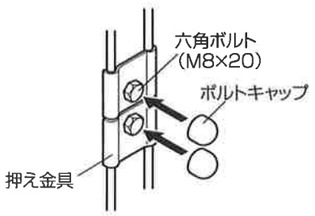


①押え金具の左右のR部分にハンギングネット本体をはめ込み、裏板AとM8×10の六角ボルトで仮組みする。(裏板にボルト山がかかるかかからない程度)

②裏板Aをポールの溝部分(凹部)にスライドさせ固定する。

ポールの左右どちらでも取付可能です。

③ボルトキャップをはめ込む。



注意
- ボルト締めはボックスレンチを使用してください。
- 押え金具の間で水平方向の線材をはさむように施工ください。
- ハンギングネットの上から3段目と4段目に押え金具をはめ込んでください。

施工手順(門扉を吊る場合)

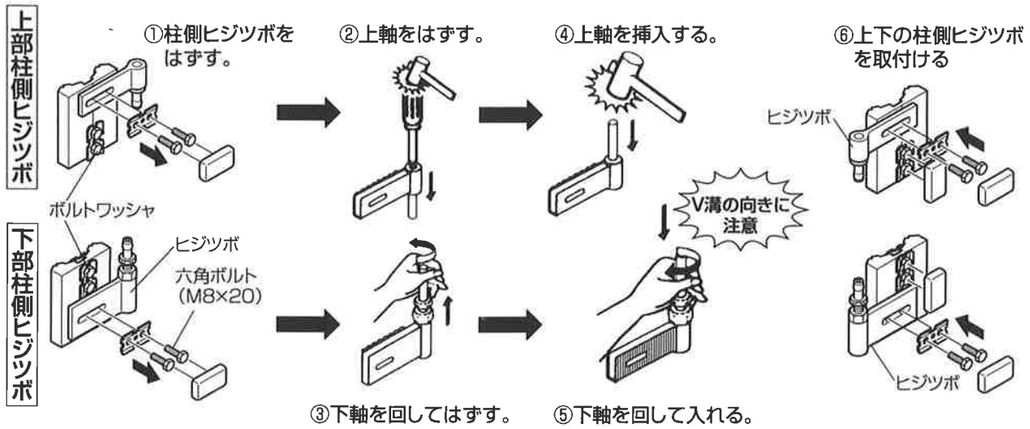
柱側ヒジツボの取付け

施工前に必ず確認ください！

●別途オプション部品、門扉取付セット(片柱用)が必要です。

●エントランスポールエックス(ECSS)を門柱として使用する場合。
- 片開き仕様はできません。両開きのみ可能です。
(片開きにする場合、別途各門扉の受柱を特注でご注文ください。)
- 門柱に吊ることのできる門扉高さはH1000、H1200です。

●門扉取付セット(片柱用)は、道路側からみて右側の柱用の仕様になっています。
左側の柱用にするには…



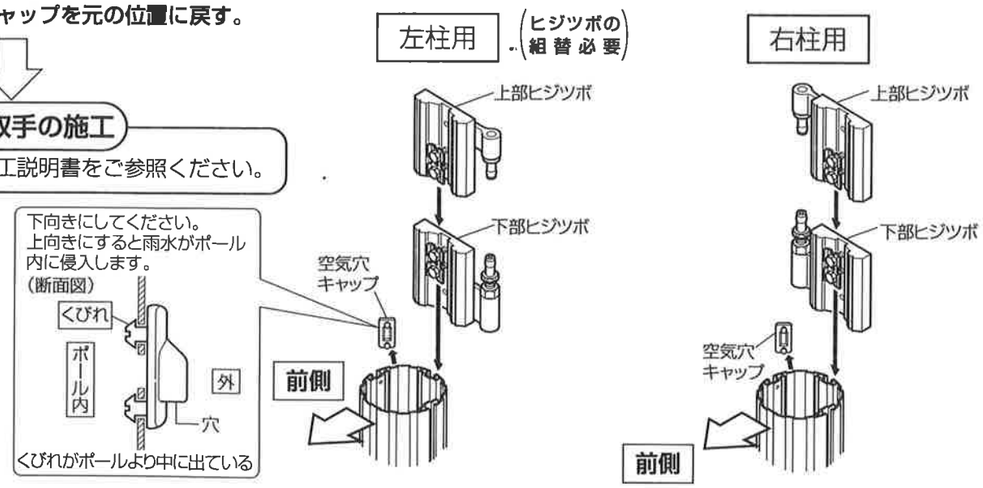
①ポールの上部後側に取付けてある空気穴キャップを一旦はずします。
注意　空気穴キャップは後で取付けます。大切に保管してください。

②下部ヒジツボ(大きい方)が付いている門扉台座の裏板をポールの溝部分(凹部)にスライドさせて所定の高さに固定する。

③上部ヒジツボ(小さい方)が付いている門扉台座の裏板をポールの溝部分(凹部)にスライドさせて所定の高さに固定する。
注意　空気穴キャップ取付穴より下へ取付けてください。

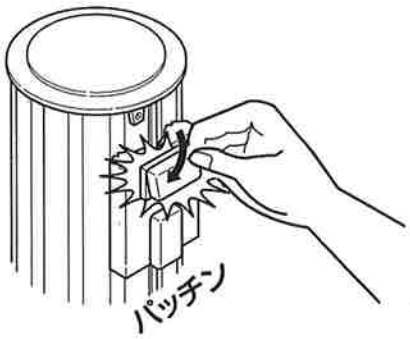
④空気穴キャップを元の位置に戻す。

門扉・取手の施工
各門扉の施工説明書をご参照ください。

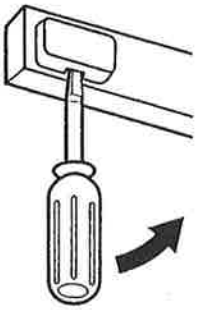


◆門扉・取っ手の取り付け、調整後に…

ボルトキャップの取付け



ボルトキャップの外し方



マイナスドライバーを
キャップの凹みに
ひっかけて外す。

施工後の確認

- ●各部のねじのゆるみがないか確認してください。
- ●照明器具(オプション)が点灯するか確認してください。
- ●(オプション)ドアホン子器・カメラドアホン子器が正常に作動するか確認してください。
  (注)特にカメラドアホン子器については、適正な映像範囲が得られているか、実際に動作し、確認してください。
- ●ポストをお取付けの場合、蓋の開閉に不都合がないか確認してください。
- ●取扱説明書・グリーンカードをお施主様にお渡しください。

●商品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

パナソニック電工株式会社［〒571］大阪府門真市門真1048
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008
722−EP113S1
K0109-0

Panasonic®

工事店様用

エントランスポール　ユーロポール

施　工　説　明　書

この度は、エントランスポールユーロポールをご採用いただきまして、ありがとうございます。

工事店様へ

■施工は、必ずこの説明書に従って正しく施工してください。
■電気配線工事は、必ず電気工事店様にご依頼ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

必ず守る	**商品の施工は、施工説明書に従い確実に行ってください。** ●火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。
分解禁止	**仕様変更・改造は絶対にしないでください。** ●ケガの発生や事故のおそれがあります。（変更、改造、分解された場合は商品の保証を致しかねます）

⚠注意 この表示の欄は「損害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

必ず守る

■現場取付部品について
照明器具…… ❗同梱されている説明書に従って正しく施工してください。
⏚ 接地工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。
アース線接続 接地が不完全な場合、感電の原因となります。

■照明器具後付けの場合、100V電源は漏電ブレーカーを介して接続し、D種（第3種）接地工事を必ず実施してください。
●感電事故のおそれがあります。

■照明器具の電球の取付けは主電源を切ってから行ってください。
●感電のおそれがあります。

■照明器具のグローブは、しっかり取付けてください。
●雨水の侵入により漏電、感電、故障等の原因となります。

■ポール下部の水抜き穴はふさがないでください。
●ポール内部に雨水・結露水がたまり、漏電、感電、故障、腐食等の原因となります。

■施工後、ねじ類の締まり具合をもう一度点検してください。
●ねじ締め不足により、思わぬ事故が起きたり、故障の原因となります。

■部材が重量物の場合、運搬・取付作業は2人以上で行ってください。
●ケガのおそれがあります。

施工上のご注意

禁止

■通行の妨げとなる場所への設置は禁止
●ケガの原因となります。

■商品へのぶら下がり禁止
●ケガ・故障等の原因となります。

■固いものを当てたり、強い衝撃を与えないでください。
●表面にキズをつけますと、腐食の原因となります。

■モルタル急結剤、海砂等の使用は禁止
●アルミの腐食促進作用があります。

■ホースによる直接の水洗いは禁止
●故障の原因となります。

■施工時の汚れ落としにシンナー、塩酸などは使用禁止です。
●腐食の原因となりますので中性洗剤を使用してください。

必ず守る

■基礎穴および埋め込み深さは基準通りに設けてください。
●強度不足によりケガのおそれがあります。

■商品に付着したリシンやモルタル・コンクリート等は速やかに清掃してください。
●塗装がはげたり、腐食の原因となります。

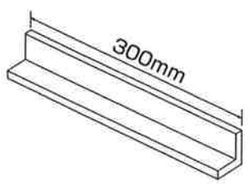
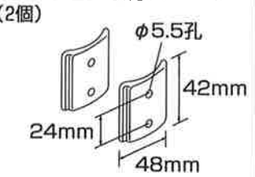
■アルミ製品に銅板やラス等の異種金属が接触しないように絶縁処理をしてください。
●アルミの腐食促進作用があります。

■ポール内への水溜まり防止のため、基礎部に栗石を敷いてください。
●電気部品の故障の原因となります。

目次

安全上のご注意 ……表紙
同梱部品 ……2
製品納まり図 ……3
施工を始める前に ……4
施工手順 ……5
エントランスポール本体の施工 ……5
オプション部品の取付け ……6～10
●ポストの取付け（アメリカンタイプ） ……6
●ポストの取付け（VH型、BI型、BR型） ……7
●ベースの取付け ……8
●ドアホン取付台座の取付け ……9
●照明器具Cタイプの取付け ……10
●照明器具Dタイプの取付け ……10
●表札板の取付け ……11
施工後の確認 ……12

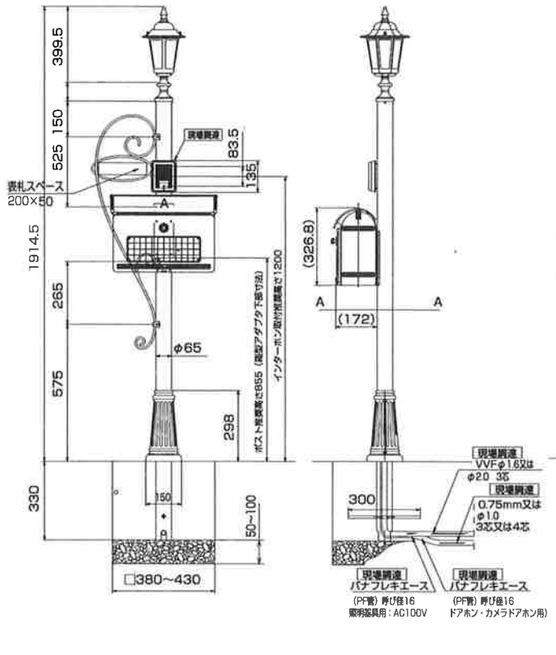
同梱部品

廻り止め棒	ポール-装飾パネル・同梱明細	
	●オプション取付スペーサー（2個）  ●なべ小ねじM5×30 C1（4本）	●施工説明書　1部 ●取扱説明書　1部 ●グリーンカード 1部 ●ネームシール　1枚

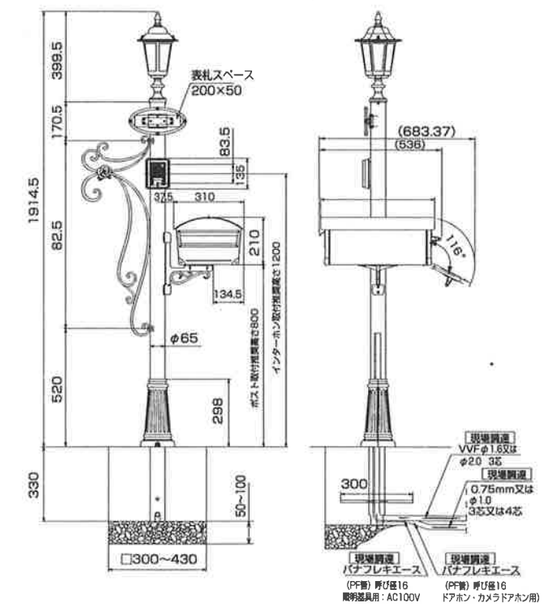
注）照明器具を取り付けない場合は必ず天キャップ（別売）を取り付けてください。

製品納まり図

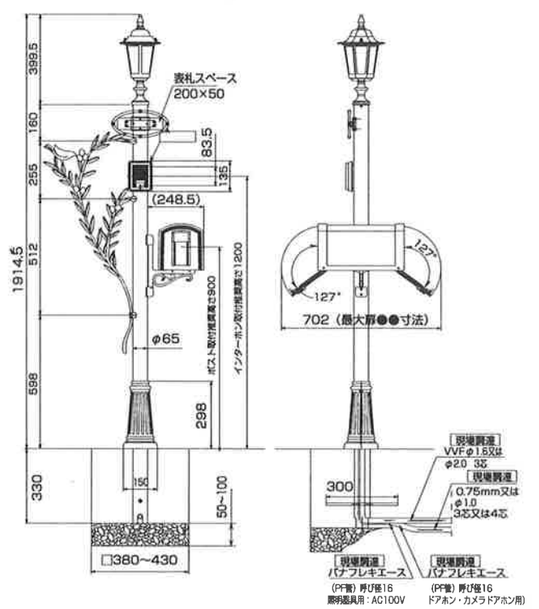
エレガントタイプ　ユーロバック



ローズタイプ　ビックアメリカン



オリーブタイプ　アメリカンエース



施工を始める前に（オプション部品の「照明」「ドアホン」をつける場合）

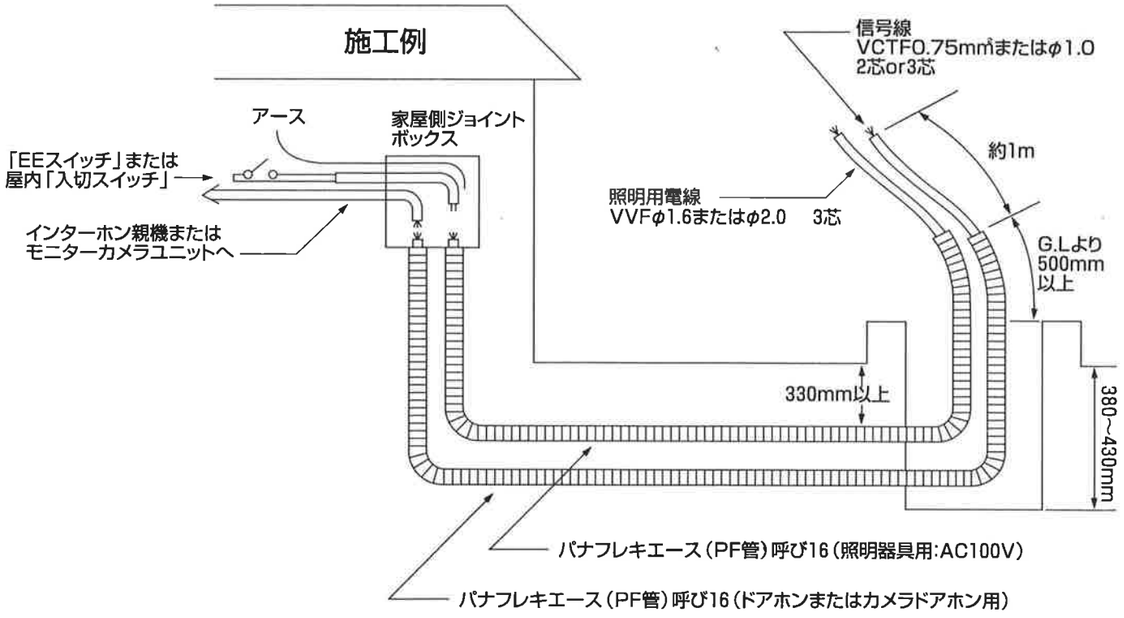
電気配線工事

はじめに

●電気配線工事は専門の電気工事店にご依頼ください。
●照明用電線と信号線は電線管による隔離が必要です。
●照明用電線は、VVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線を含む）
信号線（ドアホン、カメラドアホン用）は、VCTF0.75mm²またはφ1.0単線3芯（カメラドアホン子器の場合4芯）を準備してください。
●接地工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。（照明器具後付けの場合）
●照明器具の回路には、「EEスイッチ」または「入切スイッチ」を別途に設けてください。

配管工事

●ポール建て位置へあらかじめＰＦ管を埋設してください。



ご注意 パナフレキエース（PF管）埋設工事については、内線規定 450 節に従ってください。

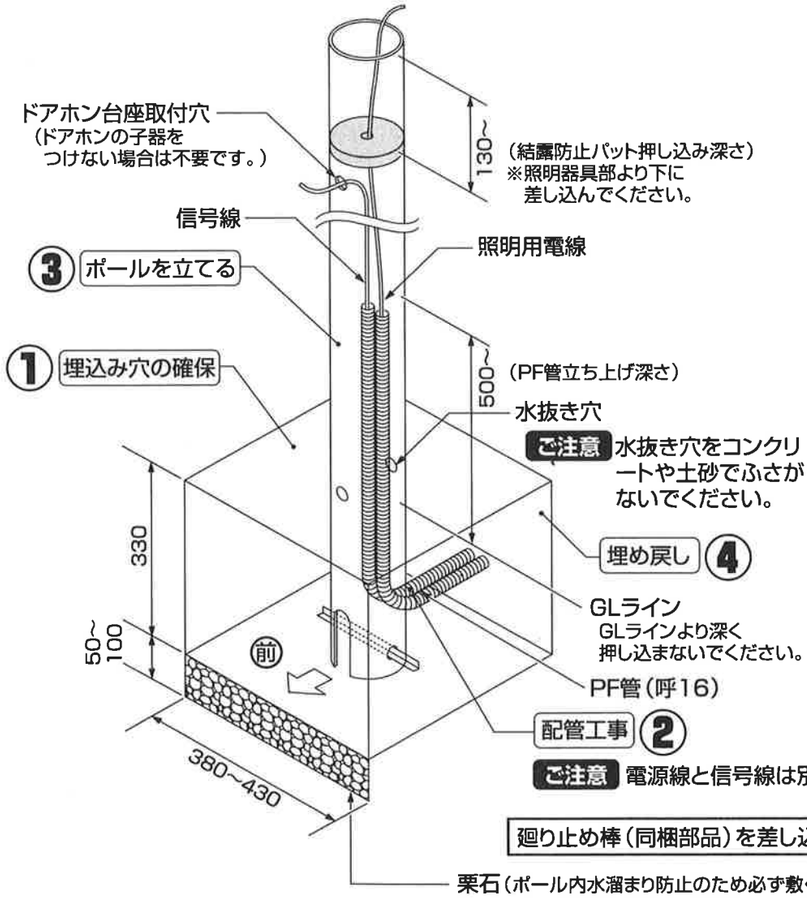
ポール本体の施工

① 穴の確保
●決められた寸法の基礎穴を掘り、ポール内水溜まり防止のため、50～100mmの栗石を必ず敷く。

② 配管工事（❗電気工事店様にご依頼ください）
●ポール内部の決められた高さまで電源線（照明用等）および信号線（ドアホン子器用等）用PF管をあらかじめ立ち上げておく。

③ エントランスポール本体を立てる。 **ご注意** ＧＬラインより深く埋め込まないでください。
●ポール内部の結露防止パットを取出しておく。 **後から使用します。大切に保管してください。**
●ポール内部にＰＦ管を通す。
●ポール本体に同梱の廻り止め棒を差し込む。
●ＰＦ管内の電線を引き上げて、結露防止パットの中央の穴に通す。
（電線はポール天面以上に引き上げてください。）
●電線を通した結露防止パットを決められた深さまで水平に押し込む。
●ポールを立て、埋込位置、高さ、垂直度、水平度を調整し、添え木などで固定する。

④ 埋戻し
●コンクリートを埋戻し固定する。



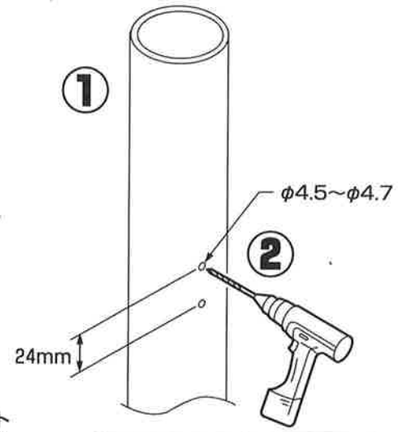
ポストの取付け

アメリカンタイプを取付ける場合

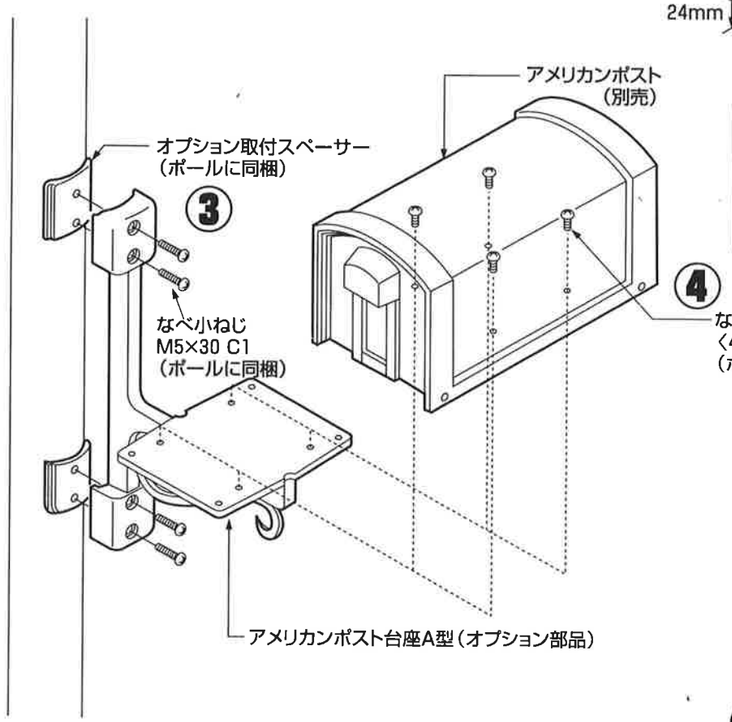
① アメリカンポスト台座A型の取付け位置（高さ）を確認する。

② 付属のオプション取付スペーサーをポールに当てて位置を決め、φ4.5～φ4.7のドリルでポールに穴加工する。（4か所）
ご注意 電線を傷付けないようにしてください。

③ オプション取付スペーサー（ポールに同梱）を配してからアメリカンポスト台座A型をなべ小ねじM5×30 C1 4本（ポールに同梱）で取付ける。

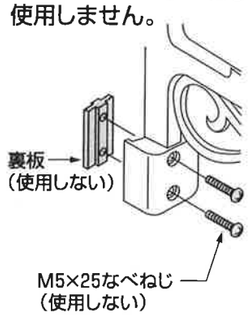


⚠注意
必ず守る
ドリルの刃で電線を傷つけないようにする。
漏電して感電のおそれあり。



④ アメリカンポストを台座になべ小ねじM4×10　4本（ポストに同梱）にて取付ける。

ご注意
台座A型に同梱の裏板およびM5×25なべねじは使用しません。

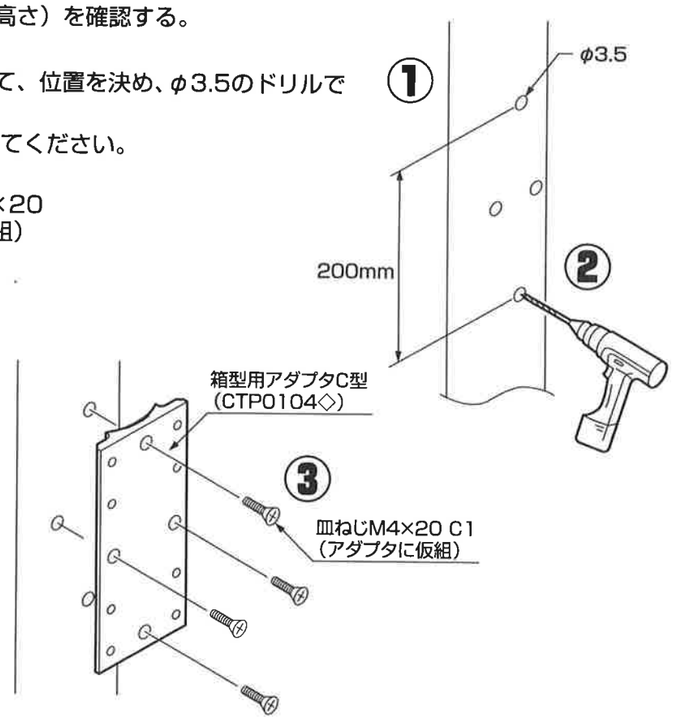


VH型、BI型、BR型等の箱型ポストを取付ける場合

① 箱型用アダプタC型の取付け位置（高さ）を確認する。

② 箱型用アダプタC型をポールに当てて、位置を決め、φ3.5のドリルでポールに穴加工する。（4ヶ所）
ご注意 電線を傷つけないようにしてください。

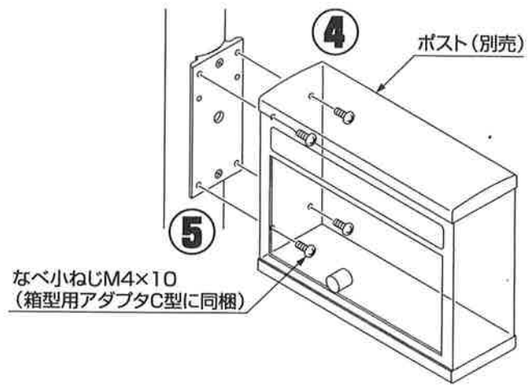
③ 箱型用アダプタC型ををφ3.5皿ねじM4×20 C1　2本（箱型用アダプタC型に仮組）で固定する。



《BI型、BR型の場合》

④ 取付ける側面のノックアウト穴を4コ抜く。

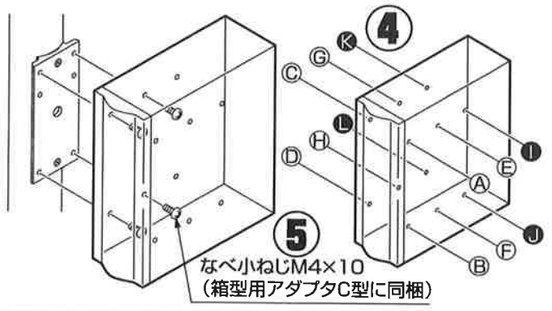
⑤ ポスト内部より箱型用アダプタC型に同梱のねじ（なべ小ねじM4×10　4本）で取付ける。



《VH型の場合》

④ VH型左右にあるノックアウト穴を開ける。
（片側どちらが4ヶ所ずつ）
ご注意 片側に6ヶ所ノックアウト穴がありますがⒶⒷⒺⒻもしくは、ⒸⒹⒼⒽのどちらか片側を開けてください。（❶❷❸❹は開けない）

⑤ ポスト内部よりなべ小ねじM4×10　4本（箱型用アダプタC型に同梱）で取付ける。



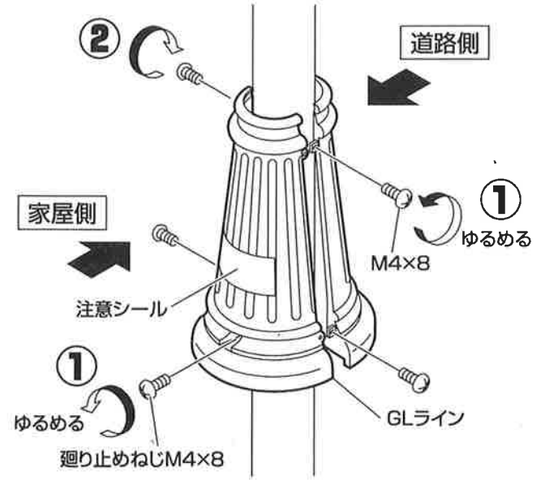
ポストの取付方法は、各ポストの施工説明書をあわせてごらんください。

ベースの取付け

ご注意
- ●ベース底面とＧＬラインを揃えて施工してください。
  （ベース底面に接する面は必ずモルタルを埋めてください）
- ●施工後、注意シールを、はがしてください。

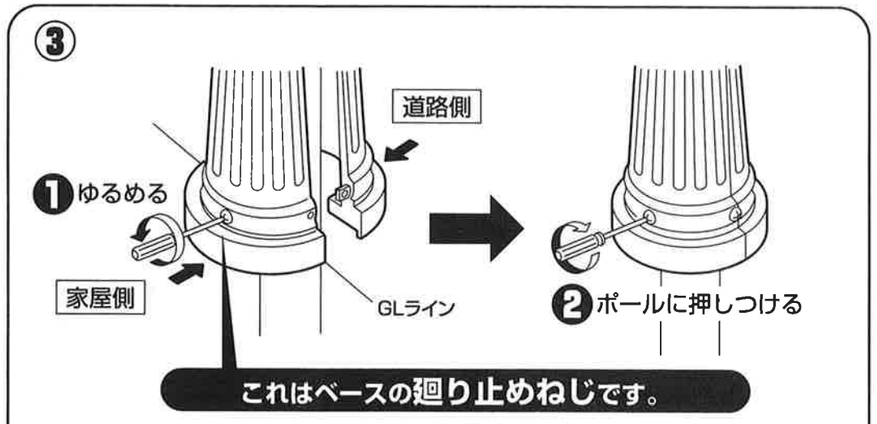
① ベースの廻り止めのねじ（M4×8 1本）をゆるめて、前後のベースを止めているねじ（M4×8 4本）を一旦外す。

② 前・後のベースを合わせ、ねじ（M4×8 4本）で固定する。



ご注意 廻り止めのねじがある方が家屋側です。

③ ベースの廻り止めのねじ（M4×8 1本）でポールに当たるまで締め付ける。



ポール取付時には**一旦ゆるめてから**、組立後
ポールに当たるまでねじをまわしてください。

ドアホン取付台座の取付け（１コ用スイッチボックス適合の後付用ドアホン子器、後付用カメラ付ドアホン子器が取付けられます。）

ご注意
- ●ねじ止めにインパクトドリルドライバーは、使用しないでください。
  （ねじがきかなくなるおそれがあります。）
- ●カメラ付ドアホン子器（露出型スイッチボックス１ヶ用適合品）も取付け可能です。
  取付高さが低い場合は、カメラ角度調節台（別売）等が必要となることがあります。
  詳しくは、各メーカーの撮像範囲をお確かめの上、お取付けください。

① 配線の確保。

② 取付け高さの設定。（カメラ取付け時には、撮像範囲を確認の上設定する）

③ ドアホン取付台座F型をポールに当てて位置を決め、φ3.5のドリルでポールに穴加工する。（2ヶ所）
ご注意 電線を傷付けないようにしてください。

④ ドアホン取付台座Ｆ型を取付け位置に当てて、配線用のφ20の穴加工をする（ホルソー使用）

⑤ 信号線をポール本体から引き出す。（20cmぐらい）
予め、信号線をポール天面より上に引き出しておき針金のようなもので配線穴を通して、信号線に巻き付けて針金を引っぱり出す。

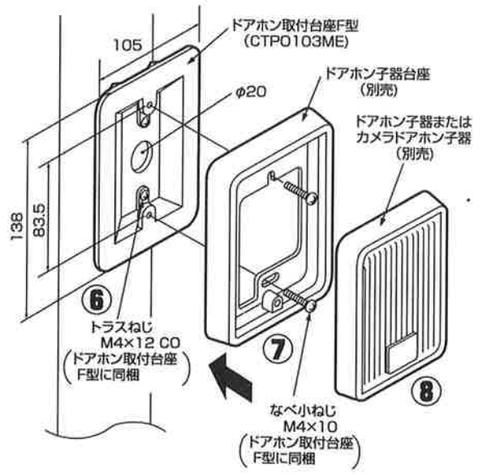
〈ドアホン台座Fの場合〉

⑥ ドアホン取付台座Ｆ型（CTP0103ME）をトラスねじM4×12 C0 2本（ドアホン取付台座Ｆ型に仮組）でポールに固定する。

⑦ ドアホン子器台座をなべ小ねじM4×10 2本（ドアホン取付台座Ｆ型に仮組）で取付ける。

⑧ ドアホン子器本体を結線し、ドアホン台座に取付ける。

結線方法および取付け方法は、ドアホン子器に同梱されている説明書に従って施工してください。



〈ドアホン台座Gの場合〉

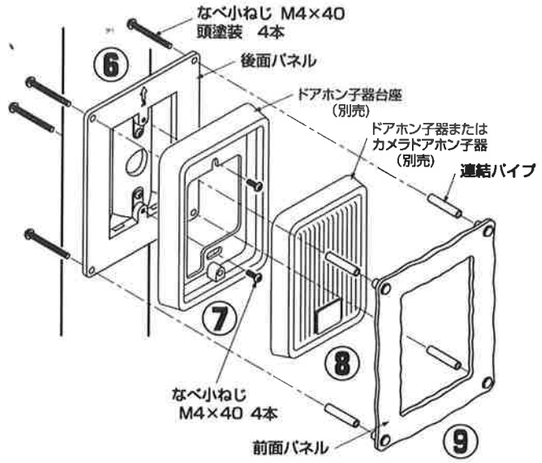
⑥ 後面パネルをなべ小ねじM4×10 2本でポールに固定する。

⑦ ドアホン子機台座をなべ小ねじM4×10 2本（ドアホン子機台座F型に仮組）で取付ける。

⑧ ドアホン子機を結線し、ドアホン子機台座を後面パネルに取付ける。

結線方法および取付け方法は、ドアホン子器に同梱されている説明書に従って施工してください。

⑨ 前面パネルを小ねじM4×40 4本で取付ける。ねじ取付の際は、後面パネルから連結パイプを通して全面パネルに取付ける。



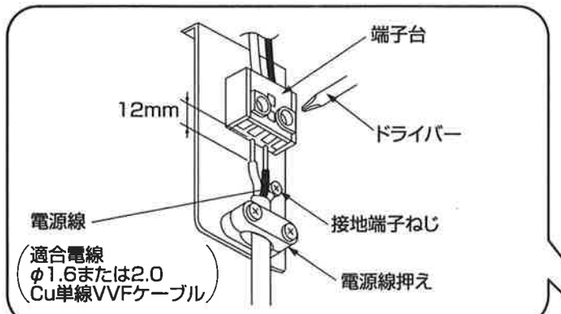
照明器具Cタイプの取付け

⚠注意 取付けの際は、安全のため電源を切ってください。
通電状態で行うと感電の原因となります。

※照明器具にも施工説明書を同梱してあります。必ずご参照ください。
※結露防止パットが取付けられていることを確認してください。

① 端子台に電源線を接続する

ご注意
- ●電線は奥まで差し込み、端子ねじを確実に締め付けてください。
  接触不良により発熱し、火災の原因となります。
- ●接地端子ねじからD種（第三種）接地工事を行ってください。
- ●電源線押えで電源線をしっかり押さえてください。



② 照明器具本体をポールになべ小ねじM4×12 2本（照明器具Cタイプに仮組）で取付ける。

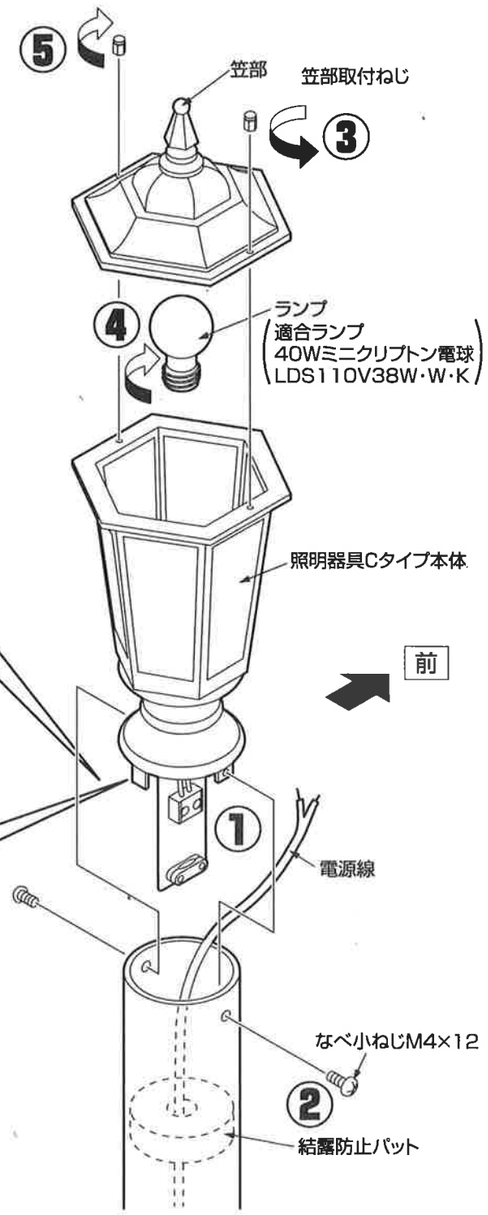
ご注意 万が一ポールと照明台座がガタつく場合は、ポール背面よりドリリングネジφ4×12（別途手配）にて取付けてください。

③ 笠部の取付けねじ 2 本をゆるめて、笠部を外す。

④ ランプを手でまわして確実に取付ける。
※ランプは一般市販品です。破損した場合は、お近くのホームセンター、電器店でお買い求めください。

適合ランプ
40形ミニクリプトン電球 LDS110V36W・W・K

⑤ 照明器具本体に笠部を取付け、ねじ 2 本で確実に取付ける。



照明器具Dタイプの取付け

⚠注意 取付けの祭は、安全のため電源を切ってください。
取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

※照明器具にも施工説明書を同梱しております。必ずご参照ください。
※結露防止パットが取付けられていることを確認してください。

① 照明器具Dタイプ用台座（CTP0107□）をポールに当てて位置を決め、φ3.5のドリルでポールに穴加工する。（2カ所）

② 照明器具Dタイプ用台座を取付位置に当てて、配線用のφ20の穴加工する。

③ VVF線をポール本体から引き出す。（20cmぐらい）

④ 照明器具Dタイプ用台座（CTP0107□）を皿テクスねじφ4×19、2本でポールに固定する。

⑤ 取付板をなべ小ねじM4×10、2本で取付ける。

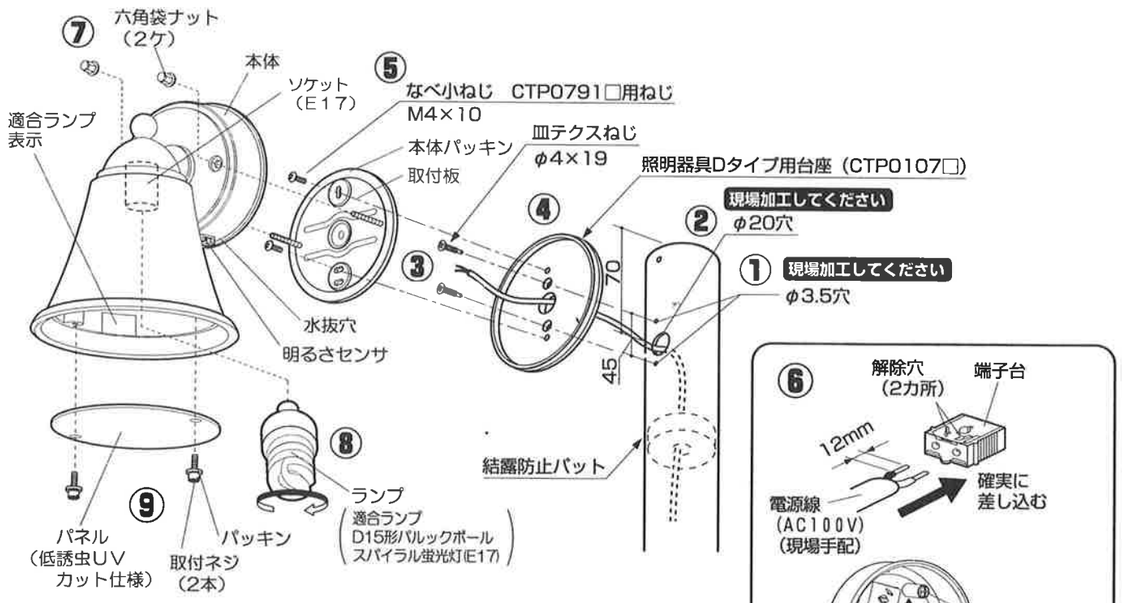
⑥ 端子台に電源線（AC100V）を接続する。

ご注意
- ●電源線は奥まで差し込んでください。
- ●接地端子ねじからD種（第三種）接地工事を行ってください。

⑦ 照明器具本体と取付板を指定方向に従い、六角袋ナット（2コ）で取付ける。

⑧ ランプを手で回して確実に取付ける。
［ランプは一般市販品です。交換の際はお近くのホームセンター、電器店でお買い求めください。］

⑨ 取付ねじ2本でパネルを取付ける。



施工手順

表札板の取付け（CTP0105□、CTP0109□タイプ）

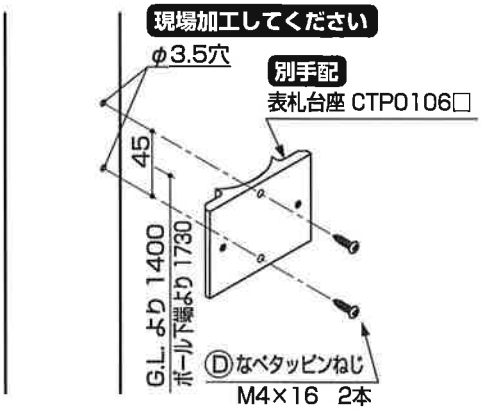
ポールに直接取付ける場合

① 表札台座（別売 CTP0106□）の取付け位置（高さ）を確認する。

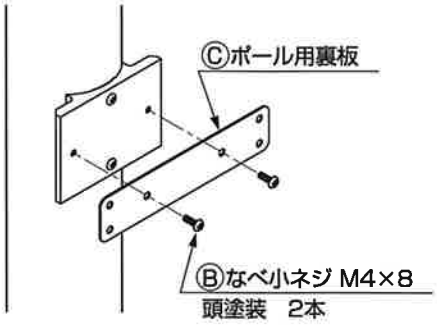
② 表札台座をポールに当てて位置を決めφ3.5のドリルでポールに穴加工する。（2カ所）

ご注意 電線を傷つけないようにしてください。

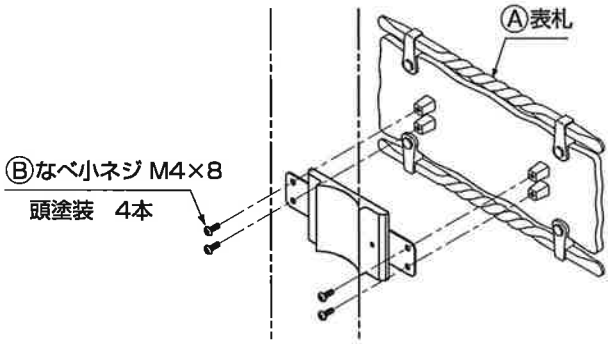
③ 表札台座をなべタッピンねじM4×16　2本（表札台座に同梱）で固定する。



④ ポール用裏板（表札台座に同梱）をなべ小ねじM4×8　頭塗装2本（表札台座に同梱）で表札台座に固定する。



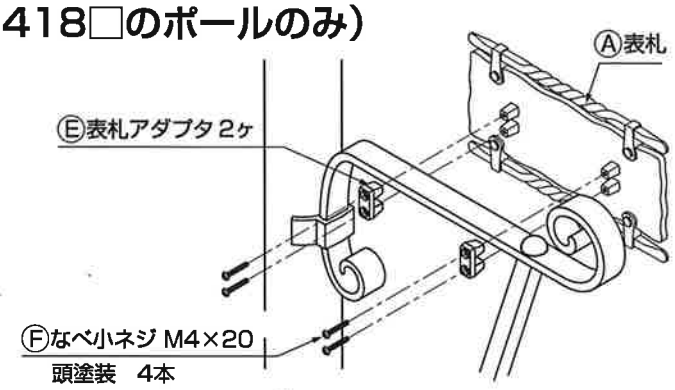
⑤ 表札板をなべ小ねじM4×8　頭塗装4本でポール用裏板に固定する。



飾りパネルに取付ける場合（CTP1418□のポールのみ）

① 表札板の取付け位置を確認する。
（飾りパネル最上部にのみ取付可）

② 表札板をなべ小ねじM4×20　頭塗装4本で表札アダプターに固定する。



施工後の確認

- ●各部のねじのゆるみがないか確認してください。
- ●照明器具（オプション）が点灯するか確認してください。
- ●（オプション）ドアホン子器・カメラドアホン子器が正常に作動するか確認してください。

ご注意 特にカメラドアホン子器については、適正な映像範囲が得られているか、実際に動作し確認してください。

- ●ポストをお取付けの場合、蓋の開閉に不都合がないか確認してください。
- ●取扱説明書・グリーンカードをお施主様にお渡しください。

●商品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

パナソニック電工株式会社　〒571−8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008